

2026年5月18日

各位

会社名：ウインテスト株式会社
(コード：6721 東証スタンダード市場)
代表者名：代表取締役 姜 輝
問い合わせ先：管理本部長 鎌田 文明

AI 特化型高性能データセンター開発プロジェクトへの 株式会社 Birdman の追加参画（6 社体制への移行）に関するお知らせ

当社は、2026年4月24日付「AI 特化型高性能データセンターの開発および運営に向けた5社間での基本合意書（MOU）締結に関するお知らせ」にて公表いたしましたプロジェクト（以下、「本プロジェクト」という。）に関し、新たに株式会社 Birdman（東証グロス：7063、以下「Birdman」という。）が追加参画することについて合意し、本日付で覚書を締結いたしました。

これにより、本プロジェクトは上場企業を含む計6社による強力なパートナーシップ体制へと移行いたしますので、お知らせいたします。

1. 追加参画の背景と目的

本プロジェクトは、生成 AI およびビッグデータ市場の急速な拡大を背景に、国内における高度なコンピューティングリソースの確保を目的として始動いたしました。

この度、ブランディング、マーケティングおよびクリエイティブ領域において卓越した実績を有する Birdman が参画することで、本プロジェクトはインフラ構築・運営といった「ハード面」に加え、市場への浸透や付加価値創造といった「ソフト面」においても極めて強固な体制を構築することとなります。

パートナー各社（当社、ReYuu Japan、イメージワン、ウインテスト、FD、Birdman）は、それぞれの専門性を融合させ、投資効率の最適化を図りつつ、次世代の AI 基盤を提供してまいります。

2. 事業スキームおよび目標

Birdman 社を含むパートナー各社は、本プロジェクトにおいて以下のマイルストーンおよびスキームを共有しております。

- 合弁会社の設立：2026年5月を目途に、共同出資による合弁会社「AI Data Partners（仮称）」を設立いたします。

- 事業用 SPC の活用：機動的な資金調達および資産の効率的運用を図るため、合弁会社の下に案件ごとの「事業用 SPC（特別目的会社）」を設立し、プロジェクトファイナンスや外部投資家からの資金を効果的に活用します。
- 事業目標：国内 10 拠点を目途にデータセンターの取得・運営を進め、投資効率の指標として IRR（内部収益率）6%以上を目指す、安定かつ高収益なビジネスモデルを構築いたします。

詳細は、2026 年 4 月 24 日、PRTIMES「[abc 株式会社、5 社間で AI 特化型高性能データセンターの開発および運営に向けた基本合意締結](#)」をご参照下さい。

3. 今後の見通し

本件が当連結会計年度の業績に与える影響は軽微ですが、各領域のトップランナーが結集し、具体的な事業目標を共有したことで、本プロジェクトの企業価値および実現可能性は飛躍的に向上したものと確信しております。

将来的には、AI 計算資源の提供に加え、資産流動化やデジタル資産化を含む新たな金融スキームの構築も視野に入れて検討を進めてまいります。

本合弁会社の設立および事業の進展により、今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上